

9月1日は何の日？

9月1日は関東大震災が起こった日です。
関東大震災は、1923年（大正12年）9月1日の午前11時58分32秒、神奈川県相模湾北西沖を震源とし、マグニチュード7.9と被災地域は茨城県から静岡県東部と広範囲にわたり、死者・行方不明者数は14万人以上、負傷者数は10万人以上と甚大な被害を与えた大地震である。

また地震発生時はお昼時ということもあり、火災による被害も発生。この時、能登半島に台風があり、関東地方全域に風が吹いていた。火災は強風にあおられ火災旋風を引き起こしながら広がり、鎮火したのは地震発生から2日後とされている。

今日、9月1日は関東大震災の惨事を教訓とし、防災意識を高める日として1960年に「防災の日」と閣議決定された。

「防災の日」と幅広く知られているが、ほかにも色々な記念日(?)とされている。そのうちのいくつかを紹介したいと思う。

「防災用点検の日」

9月1日の他に、3月、6月、12月の1日も防災用点検の日とされている。

「くい（杭）の日」

東日本基礎工業協同組合が1993年に制定。
工事現場での殉職者の慰霊及び安全作業を推進する日。

「キウイの日」

ニュージーランド産の輸入等を行っているゼスプリインターナショナルが制定。

「くいの日」「キウイの日」は語呂合わせ。

話が少しずれたが、東海地震が近いうちに起こると危惧されているので、家庭での防災に対する準備を見直してみても如何でしょうか？

また職場で防災対策が施されているか？施されているとして、どのような対策がとられているか気になります。

日 刊

新
東
京

No. 475

2010年
9月1日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

日刊

新東京

NO 476

2010年
9月2日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

7割の支部・分会が取組んだ！

社会貢献活動

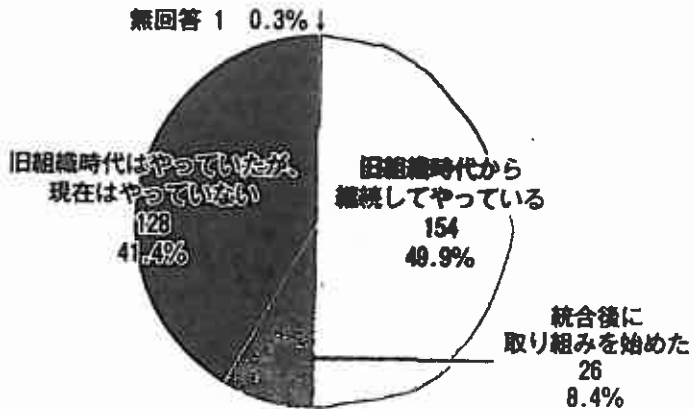
J P 労組は第2回全国大会で労働組合の社会的責任を強く意識した「福祉型労働運動」の取り組みを決定しました。

福祉型労働運動では、労働組合が積極的に社会に参画していくにあたり、労働組合が有している人、物、情報といった組織資源を有効に活用し、社会全体や地域福祉のために何ができるかを考え、かつ、その実現に向け

て活動を展開していく。

まずは、福祉型労働運動の根底となる各分会・支部における地域との協働、社会貢献活動の実態や意識調査を今年初旬に454支部を対象に行なった。

結果、7割以上の支部・分会が社会貢献活動に取り組んだ経験があり、約6割の支部・分会が現在も取り組みを行っていると答えている。



取り組みを詳細に見てみると「環境美化・清掃活動・環境保全活動」と「リサイクル活動」が回答の半数以上を占めている。本部は、2012年度から本格的展開をめざすこととしている。

「小江戸」

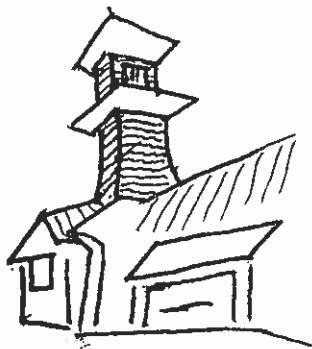
川越

川越、埼玉県西部の中核都市で、「小江戸」とも呼ばれ江戸の風情を残す街で、再開発が進み近代的な都市に様変わりした隣のさいたま市とは対照的な街である。

かつて新河岸川の舟運で栄えた川越は、江戸との文化と商業の交流が盛んに行なわれ、今でも蔵造りの商家が並び、市内には江戸とのつながりが深い喜多院や川越城跡、その他、市内には数多くの神社、寺院が点在している。毎年正月ともなるとこ

れらの神社や寺院などへ参拝に訪れる人で賑わう。

市街地の北部には、ぶ厚く漆喰を塗り込めた重厚感あふれる



蔵造りの商家が並び、茶舗、菓子舗など商家が多く、今ではめ

ったに見ることがなくなつた観音開きの扉、千本格子の窓を見ることが出来る。通りの中に入ると昔に戻つた感がある。

通りの中ほどには木造3層で高さ16メートルの川越のシンボルとも言える「時の鐘」がそびえている。今でも一日4回鐘を鳴らし時を告げています。

さらに、蔵造りの通りから少し露地を入つた一角には昔懐かしい駄菓子屋が軒を並べ、子供連れの客で賑わい、大人には幼少の頃を思い出させてくれる。

毎年10月には江戸の天下祭りを受け継ぐといわれる「川越まつり」行なわれ、蔵造りの町並みを多くの山車が練り歩き街は大にぎわいとなる。

川越は都心からも近く、一度訪れてはいかがですか。

急ぎの用は何ですか

四月に3特の名称が廃止されてから五カ月…。9月1日から2特課Aサイトと2特課Bサイトの交流が始まった…。ようだ。

ウワサばかりが先行して「いつ始めるのか」「どのように交流するのか」「交流の目的は何なのか」はつきりさせないまま、お盆明けから「交流」を開始するとなっていた…。ようだ。

職場での周知では、「一輸送課での有証処理作業の一特課移管に伴

う混乱を回避するためスケジュールを変更する」とは言いつつも、計画からの応援や一普課からの応援、現場からの応援応援で順調に推移しているとは言い難い。(今週前半は伝2結束が3時半に流れてきたが…)

支部大会での意見を集約した「大会決定要求書」では、会社の様々な施策実施について業研や丁寧な職場周知を求めているが、その求めにはほど遠い実態であると断ぜ

ざるを得ない。ゆうパック統合混乱の反省が全く生かされていないと思ふと背筋が寒くなる。施策実施の直前に一、二度、役職者が周知文を読むだけで社員に理解と納得を求めるのは難しいのではないか。その場での質問はするな！という管理者が現在でもいるというのに…。施策実施のアリバイとしての職場周知としか思えない、感じられないものも多くある。もっと厳しく言えば、だれか管理者や役職者が点数稼ぎのために「こういう実績を残しました」というものになつてはいないか。

宅配便事業統合で大きく傷ついた「郵政ブランド」を立て直そうとしている真っ最中の今日的状況を考えると、社員の意見をもっともつとじっくり聞いて、社員の理解と納得の上で実施するよう強く求めたいです。

日 刊 JP 新東京	No.478	2010年9月6日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

「宅配便事業統合に関する意見書」 の提出について

東京地本は、宅配便事業統合におけるゆうパック業務の混乱は、郵政グループ全体にかかわる信頼を失墜させ、郵便事業にとって最大の危機を招いたと認識しています。

現在、組合員の懸命な努力により、送達関係については正常化になりつつありますが、配達等は未だに綱渡りの業務運行であり、ゆうパック業務全体の正常化とは言い難い状況です。

この間東京地本は、宅配便事業統合の混乱回避・正常化に向け、東京支社との対応を行ってきました。また、社会的使命を果たすためには、今後の郵便事業の成長・発展によるお客様からの信頼回復と社員の事業に対する誇りの再生が不可欠と判断しているところです。

東京地本はこのような状況から、今後の業務運行を確保していくために、「宅配便事業統合に関する意見書（8/25提出）」及び「ゆうパック業務改善要求メモ（8/20提出）」を東京支社に提出しました。地方労使間において、早期整理に向けた交渉を精力的に展開していくこととしています。

日本郵便事業会社東京支社
支社長 勝野 成治 様

日本郵政グループ労働組合
東京地方本部 委員長 佐藤和美

宅配便事業統合に関する意見書

J P 労組東京は、今回の宅配便事業統合後におけるゆうパックの大規模な遅延による混乱は、ゆうパック事業及び郵便事業に止まらず郵政グループ全体にかかわる信頼を失墜させ、郵便事業にとって最大の危機を招いたと危惧しています。

現在、社員・組合員の懸命な努力によって、ターミナル間での送達関係については、正常化になりつつある一方で、配達等は未だに綱渡りの業務運行であり、ゆうパック業務全体の正常化とは言い難い状況です。

この間J P 労組東京は、事業を守る立場で宅配便事業統合の混乱回避、正常化に向け様々な角度から協力を行ってきたところです。同時に、郵便事業最大の危機を乗り越え郵便事業の成長・発展により社会的使命を果た

すためには、お客様や市場の信頼回復と社員の事業に対する誇りの再生が不可欠と判断します。そのためには、宅配便事業統合の混乱の原因を明らかにするとともに、全社員が自信と誇りをもって日々の業務に邁進できる環境を早期に構築しなければなりません。

その視点に立って、下記のとおり宅配便事業統合に関する意見書を提出しますので、東京支社の誠意ある回答を強く求めます。

記

1. 宅配便事業統合の混乱は、システム上の問題だけではなく、経営判断に至ったプロセスが問われる課題と認識しています。「現場の正しい情報が経営に反映されない」古い体質が顕著に表れたものではないかと考えます。なぜ、このような事態になったのか、徹底した原因究明とともに、真相について明らかにすること。

2. 今回の宅配便事業統合の混乱、お客さまに対する責任、さらに社員に対する責任について明らかにするとともに、混乱を招き郵便事業会社の社会的信頼を失墜させた責任についても明らかにすること。

3. なぜ、混乱が生じると想定された7月1日に宅配便事業便統合を強行したのかその理由を明らかにすること。また、市場競争が激しい東京において、東京支社はどのような判断を行ったのか、さらに、危機管理も含め統合前の現場・フロントラインの状況や意見について、本社にどのように報告してきたのか明らかにすること。

4. 宅配便事業統合の準備段階において東京支社は、各支店の機器類、必要労働力、訓練、社員への周知、承継顧客への対応等の状況について、現状を的確に把握していたのか事実関係を明らかにすること。また、その状況について東京支社としてどのような判断をしたのか明らかにすること。

5. 正常化宣言が公表されているが、各支店における勤務時間管理の状況及び特別条項の適用や時間外労働の状況について明らかにすること。

6. 現場・フロントラインの課題改善と年末繁忙期対策について、別途協議する場を設置すること。

なお、ゆうパック事業の成長・発展に向け、「ゼロからのスタート」をするためにも、社員はもとよりお客さまからの信頼回復が第一歩である。現状の課題を早期に改善し、年末年始に二度と繰り返さないために東京支社として現段階における年末年始に向けた対策について、明らかにすること。また、ゆうパック事業の成長戦略に向け、現場のオペレーション及び年末繁忙期に向けた「改善・対策」について意見書等を提出するので誠意ある回答を示されたい。

以上

日 刊 新東京	No. 479	2010年9月7日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

支部事業推進委員会の開催

さる8月31日(火)に支部事業推進委員会を開催いたしました。内容としては7. 1 宅配便事業統合について特化した意見交換となりました。

冒頭、福田支店長より宅配便事業統合時の社員のがんばりにより、他の混乱を生じた統括支店、ターミナルと比べ早期に立て直しが出来たことへの組合員に対する感謝の言葉がありました。

引き続き、宅配便事業統合に伴う準備状況及び評価・反省が説明され、意見交換となりました。

口火を切ったのが第2ゆうパック木村分会長で、7. 1 統合に至った支店としての判断はどのようにされたのか。

年末繁忙に向けて施設面での拡張が必要だと考えるが、支店としての対策が決まっていれば教えてほしい。

黄鉄パレットの労働災害が起こっているが、改善対策が講じられるまで使用を控えた方が良いのでは！！・・・

ゆうパックの問い合わせ代表電話に2パック課長代理の電話となっており、作業指示が疎かになってしまう・・・等々

※ その他の内容等については9月17日(金) 第2回執行委員会(拡大執行委員会)でお知らせいたします。

最後に下山支部長から各職場での管理者と社員のコミュニケーションを密に取ってもらい、業務をうまく回して欲しいと要望し終了いたしました。

日刊
新東京

NO 481

2010年
9月9日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

「トウヴァン コンチエルトへの参加を

福祉型労働運動の推進にあたって

東京労働者福祉協議会、障害者芸術家を支援する会から要請がありましたのでお知らせします。

この「トウヴァン」とはフィンランド語で「将来の、未来の」を意味します。

目的は、音楽家をめざすチャレンジド（社会進出を積極的にめざす障害者）が夢や希望を持

ち、その才能を発揮させることのできる世界を実現させるための『場』づくりと支援を目的とした音楽会です。

応募方法は、郵便往復はがきでの応募となります。すでに壁新聞で掲示していましたが、締め切りは九月一〇日（金）消印までとなっております。

今回は、コンサートの趣旨に賛同する組合員の自主的な参加

を要請としますので、一般の応募方法にしたがって申し込みをお願いします。

主演者 川畠成道 (ヴァイオリニスト)
前川裕美 歌手&作曲家

開催日時 2010年10月30日(土)
15時開場 15時30分開演
開催場所 メルパルクホール(港区芝公園)
入場料 無料
主催 テレビ朝日福祉文化事業団
協賛 J P 労組東京 東京労福協 他

連日連夜の暑い夏

もう何とかしてほしい。35℃以上の日々

観測史上最大の連日の猛暑。熱中症で五月以後五万二千人の人が倒れ、一六八人が死んでいる。

新東京でも仕事中に気持ちが悪

くなった人や、倒れていまだに職場に出てこれられない人もいる。本社・支店の熱中症対策は「不十分ではないか」という現場の声が多い。

水分の補給は語るが、冷房装置が効かない。ブラインドも半分以上破損していて役に立たない、運送トラックが出入りする一階の熱風はすさまじい。休息室はサウナ状態。

何回も指摘しているがこのような状況は目に見えて改善されていない。これでは身体が保たない。

大量の作業をおこなう夜間帯、汗を流し連続勤務では最悪状態になる。

このかんエゴ強調月間として「冷房」を28度にしていた。

世間で通用しないのでは……。友人や家族・親戚に語るのも恥ずかしくなる環境では。これで良いのだろうか経費節減はわかるが記録的な暑さにたいしては柔軟にに応じてもらいたい。

いい湯だな (34) 白骨温泉 白船グランドホテル

名前を聞いただけでもおどおどしい雰囲気と温泉マニアには秘境の魅力を感じさせられる白骨温泉。

JR松本駅から電車とバスで2時間あまり着く。深い山々、白樺の木々に囲まれ秘境という雰囲気を漂わせる。遠くに雪におおわれた北アルプスの壮大な姿が眼前に広がる。地名は白船ですが、「大菩薩峠」の中で「白骨」と使われ、そのように呼ぶようになったという。

硫黄の香りが辺り一帯にただよう中、高台に白船グランドホテルがそびえたつ。予想に反して綺麗で大きな建物。関西方面の団体バスがどんどん入ってくるので秘境というイメージが狂ってしまいました。館内も綺麗で高級ホテルという感じでした。ホテルの大きさの割に小さな内湯と露天風呂でした。雄大な山々と森林を望みながら堪能できます。湯はにごっていますが草津とも万座とも違い、硫黄臭でありながらやわらかい泉質で、これがまたゆっくりする雰囲気をつくっていました。

食事も贅沢で・秘境に来たはずなのに・調子が狂いましたが、最高でした。

日 刊	JP新東京	No.482	2010年9月10日(金)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

「第27次救援衣類を送る運動」の取り組みについて

アジア連帯委員会及び連合東京より「第27次救援衣類を送る運動」の取り組み要請がありました。

アジア連帯委員会は「連合・愛のカンパ」や全国各地から寄せられる「善意の募金」により支えられ活動している団体であり、JP労組も加盟団体であると共に、役員派遣（常任理事）も行っています。

この取り組みは、全国の個人、各種団体、会社等の支援により毎年ラオス・タイに届けられているもので、東京地本としても昨年同様にこの取り組みを進めていくこととしますので、各分会の皆さんのあたたかいご支援をお願いします。

1 受付期間

2010年10月4日(月)～10月8日(金) 必着(5日間)

【救援衣料送り先 タイ国(社会開発安全省)・ラオス国(保健省)】

※輸出手続きのため期間厳守で送付して下さい。

2 取り組み内容

- (1) 救援衣類を送る取り組み
- (2) 海外輸送募金の取り組み

3 救援衣類を送る取り組みの具体的な衣類の送付方法について

- (1) 発送及び伴う費用については、支部もしくは個人単位で負担してください。
- (2) 救援衣類を送る際は、「専用シール」をダンボール箱に貼って送らなければいけません。

東京地本として発送個数を把握することから「専用シール」については、地本で保管していますので、衣類等を送る場合は地本まで連絡してください。シール請求者に郵送します。

(3) 発送可能衣類等

送る衣類等が下記の「受け入れられるもの」であることを確認のうえ、ダンボール箱に詰めてください。

日 刊 JP 新東京	No. 4 8 4	2010年9月14日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

経営理念の変更について

郵便事業会社は本部に対し、民営分社化時に示した郵便事業会社の経営理念に「安全」の文字を明記するとの説明を行ってきました。

郵便事業会社は、極めて公共性が高い物流事業者として社員26万人、車両12万台を有する社会的な役割も大きい会社ですが、これまで、経営理念には物流機能を提供する裏付けとして「安全」の概念を含めて用いてきたとしています。

しかし、交通事故や労働災害ともに発生件数や発生頻度が同業他社に比べ、極めて高い状況が続いていることから、今般、同業他社が極めて高い位置づけで「安全」の意義を明文化していることを踏まえ、郵便事業会社の経営理念に「安全」を明記し、対外的なアピールと社員への意識付けを行うとしています。

変更後の経営理念については、9月10日に文書発注し、その後、イントラネット掲載や朝礼やミーティング等で活用するなど、社員への浸透を図るとともに、既に情報周知の通り、今年度は9重点施策を実施していくとしています。

なお、施行日は10月1日となります。

本部は、地域や事業場の特殊性によって労働環境も一律ではないことから、事業場ごとの労使間の意志疎通を充分行うよう支社を通じた本社指導を求め、本案件について諒承したので周知します。

日 刊 新東京	No. 785	2010年9月15日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

うれしいのやら、悲しいのやら… 三宅島に転勤漂流記の巻(上)

えっ、ここで内示ですか！

「ま、まさか…！」と、思ったのはロシア旅行のホテルの部屋に入ったときでした。課長から携帯電話に着信が…「今から内示をいうけど…いい？」

私は、4月1日から三宅島集配センターに転勤になりました。でも、東京の島(大島～小笠原)は新東京支店の郵便企画課の管轄なので表ズラは「局内異動」との事…なんだかな～ (^_^;)

大急ぎで引っ越しの用意…どうする！

まず、何が大変って…引っ越しが問題でした。実家からとか家を買ったとか、いろいろあるけど自分は公団住宅に一人住みだったので「部屋を空にする」ということが非常に大変でした。また、引っ越し自体もトラックをそのまま船に乗せるのかと思ったら、トラックからコンテナに積み替えて船に乗せ、島に着いたらまたトラックに積込んで…と業者に話を聞いたら最低30万円はかかると言われました。…で考えたのは、「ゆうパック！」自社商品でした。40～50個くらいは送ったかな？かなり会社に貢献できたと思います。

三宅島での仕事は配達！

自分…新東京郵便局が出来てから20年、特殊課で仕事をしてきました。(2特で4年、3特で16年！) 年がいもなく「島、ど～かな～？」って簡単に考えていましたが、郵便配達！！これはかなり大変でした。

引っ越しが4月中旬までかかってしまい、4月16日から初仕事でしたが、いきなり雨🌧️雨！
裏面に続く👉

雨の中、初めて乗る赤バイクで新しいレインコートを着て、新しい長靴（農協で買ったもの）をはいて、左手に配達区の地図を持ち、57才の大先輩に「頑張っついで来いよ！」といわれて…雨の中に走り出しました。

なんといっても、外務経験も全くない男が、山道、砂利道、ぬかるみの道を走るという事がすごく大変でした。アップダウン、多し！

先輩は、「はい、ここ〇〇さん家、ポストはないから玄関に」とか「〇〇さん家は名前ないから…」とか、そりゃ～もうついで行くだけで必死だったので「ああ、ここが〇〇さん家か…」なんて考える余裕なんてなく、雨の中、エンストを何回もしてドブネズミのような感じで配属初日の仕事をしました。今思うと懐かしくも感じます。

転勤漂流記の巻（下）に続く…かも。

平成22年9月23日(木) フットサル大会出場決定



〒136-0031

東京都江東区夢の島2-1-3 Bumb [東京スポーツ文化館]

16:00~18:00

★ 参加者・マネージャー随時、募集中！詳しくは支部執行委員まで！！

以上

日 刊 JP 新東京	No.486	2010年9月16日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

うれしいのやら、悲しいのやら… 三宅島に転勤漂流記の巻 (下)

三宅島に転勤、初仕事は…

大先輩は、「はい、ここ、〇〇さん家、ポストはないから玄関に」とか「〇〇さん家は名前ないから…」とか、そりゃ～もうついて行くだけで必死だったので「ああ、ここが〇〇さん家か…」なんて考える余裕なんてなく、雨の中、エンストを何回もしてドブネズミのような感じで配属初日の仕事をしました。

配達をされていて思ったことは…

- ①表札(名前)が無い家が多い!
- ②同じ名前の家が多い!(浅沼さん、沖山さん、とか)
- ③犬が怖い!クモがデカイ!
- ④〒ポストのない家が多い!
- ⑤海が青くてきれい!どこからでも見える!

等々…。また、三宅島の噴火以来、帰島していない家と現在住んでいる家の違いがわからない…かな?

やっぱりこの中でもデカイクモ!!! クモ嫌いということもあるけど「アシダカグモ」というクモがポストの横からグワッ!と出てきた時、本当に腰が抜けるかと思ったくらいにビビりました!!!

はっきり言ってタランチュラみたい!なクモが家の中や風呂場にいるのでかなり困っています。(クモの巣を張らないで走る!!…でもゴキブリなどを食べるえき虫「益虫…良い虫」なので、殺してはダメ!と島の人に言われた…嫌だよな～)

仕事の内容は…

仕事は配達だけでなく、到着した郵便物を区分して「組み立て」ということも今ではやっています。…これがまた大変で、同じ名字の人が多い多い…!で、住所も番地が書いていない郵便物がたくさ

んあるので、すごく大変! (「三宅島伊豆 ○○様」しか書いていない、とかね) 島民の家族構成というか個人情報について仕事で覚えなくてはいけない…「○○さん家の家族はだれと、だれと、だれで…息子はとなりの家に住んでいるから別に配達する」う～ん!と頭をかかえてしまうような仕事です。

何でこんなに種類があるの…

配達すべき郵便物の種類の多さにうんざりします。代金引換郵便、特別送達、本人限定、配達証明、書留、レタックス、レターパック350・500、ポスパケ、等等々…それらの処理が大変! こまごまとやるのがたくさんある。これ以外にも、小包の受け渡し、またまた小包の種類の数々!! ラベルがまったくバラバラ!! 代引の小包やら、着払い、コレクト、など…今まで書留と速達しかやったことのない男にとっては本当に未知の世界!

…と、大変なことばかり書いたけど、職場の人はとてもキビシク、またやさしいので楽しくやっています。海釣りも、まだ初心者なのでメモを取りながら教わっている段階です。自分の希望で「島」に来たので弱音ははきたくないのです。前向きにいろいろ頑張っています。

島に転勤して実感…

そのほか…島ではガソリンが1リットル204円! とか、物価が輸送料も入るので若干高めになっているなどがありますが、自然豊で緑も多く、とても気持ちいいです。配達途中に見える青い海、そして「薬」を配達したときに言われる「ありがとね〜♪」とか「暑いね〜、お茶飲んでいくかあ〜」と島の人が言ってくれる瞬間はこれまでの仕事には無かった感動を覚えながら郵便の原点の「配達」を実感しながら、赤バイクを飛ばして配達しています。

そ〜そ〜、7月のペリカン便との統合 ●* では島の現場でも最前線でいろいろ苦情がきましたよ〜 ⊗。まったく…どこのバカが7月の夏期繁忙期で忙しいときにペリカン便と統合しようなんて考えたのか…?! 思わず胸ぐらつかんで「ふざけんぢやねえ!」って言ってやりたい!! バカ連中どもに!! (新東京、それも小包課はもっともっと大変だったみたいですね、お疲れ様です。)

まあ、なんだかんだ言っても、三宅島でいろいろドタバタ奮闘中の「転勤漂流記」でした。
(投稿・I)

日 刊
JP
新東京

No. 4 8 8

2010年
9月21日(火)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4 3 5 3

第1回

拡大執行委員会開催！

9月17日(金) 15時より、5

階研修室にて7月31日開催の第

3回定期支部大会以降初めての分

会役員を交えた会議として拡大執

行委員会が開催された。

今回の主な議案は、一つとして支

部大会決定事項の会社側の回答の

付合せ、二つとして10月14、1

5日で開催される第6回中央委員

会へ向けての意見集約、3つとして

9月8、10日で開催された支部

長・書記長会議で地本より強く要請

された東京3万人組織建設へ向け

ての提案がなされた。

また、支部大会で多数の会社の体

制・意思疎通の問題点が意見として

出された。支部としてこの体制で来

年の支部大会まで支部活動をして

いくこととするが、重要な時期での

オルグは開催できたか等組織間の

意思疎通に問題はなかったかもう

一度振り返り反省すべきところは

反省し改善するよう要請された。

その後、支部書記長より2010

年度支部執行体制及び分会体制の

提案があった。今年度の支部執行体

制は専門部ごとに専門委員を設け、

部長を中心に運営にあたるとし、

様々な案件について、意見や要望は

専門部を通してもらうことにより、

支部執行部の強化を図りたい旨説

明があった。

また、専門部ごとに会議等を開催

することから、最大限の分会専門委

員の設置が要請された。とくに、前

段で重点項目とした組織、組合員の

ライフサポートに直結する共済、組

合員との意思疎通の強化としての

広報については出来る限りの分会

専門委員の選出を要請した。

そして、支部長より東京地方委員長から支部長書記長会議で要請された主な四点の報告があった。

第一に冒頭述べた東京3万人組織建設をどうしても実現させることであり、9月24日から今期第一次強化期間と位置付け、支部・分会が一枚岩となり行動していくこと。

第二に、絶対失敗の許されない年末繁忙期を目前に控え、経営パートナーとしてチェック機能の強化・発揮をすること。7月の宅配便事業統合では多くの問題点を提起し今まさに最大の危機であり、同じことを2度と繰り返さない想いで警鐘をならし成功させる。

第三に全ての行動を収斂させて

取り組んだ夏の参議院選挙の結果を踏まえ、きちんとした総括を実施し組織基盤の強化を図ること。更には、来年の区議会選挙での重点候補の勝利に向けて行動を強化すること。

第4に、参議院選以降、廃案となった郵政法案について次期臨時国会での法案成立に向けた取り組みの強化を図ること、等が大きな項目として提案を受けた。

その後、分会役員から様々な課題の提案を受け、最も時間を割いたところとして正社員登用についてだった。25日から実施される2次面接に向け、会社側として模擬面接をするなり、必要な人材であり合格に

むけて努力することが必要ではないかとの意見が多く出された。

最後に、支部執行部の今後の活動方針として、まずは執行委員全員が組合員と『集う・聞く・話す』ができるようになること、そして執行部全体がそういう組織となるよう一人ひとり自立性を発揮しながら今後の活動に取り組むことが決定された。

(各専門部からの報告・要請等は割愛させていただきました。)



日 刊 JP 新東京	No. 490	2010年9月24日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

「児童買春・児童ポルノ禁止法」 の早期改正を求める 署名活動について

JP労組中央本部及び連合の男女共同参画局より、(財)日本ユニセフ協会の呼びかけによる「児童買春・児童ポルノ禁止法」の早期改正を求める署名活動への協力要請がありました。

連合は、「2010-2011政策・制度 要求と提言」のなかで、人権を冒瀆する性的商品化や暴力を許さない社会づくりに向けて、「性的目的での児童ポルノの単純所持禁止を盛り込んだ『児童買春、児童ポルノ禁止法』の法改正の早期実現」を目指しています。

この度の(財)日本ユニセフ協会の呼び掛けに賛同することを決めたことから、東京地本としても、この署名の取り組みに賛同し、積極的に参加・協力することとしています。

各分会で取り組みますので、ご署名よろしくお願いたします。

なお、企画第11号の全組合員対象アンケート調査と同様の時期と重なっていますので各分会の工夫した取組をお願いいたします。

取り組みの締切 2010年10月20日(水) 組合事務室必着

※「署名用紙」はJP労組ホームページ

[<http://www.jprouso.or.jp>]にも掲載しています。

※「署名用紙」の余白の使用(支部・分会名などの記載)は差し支えありません

2010年11月1日(月) 東京地本必着

2010年度 新東京支部 執行体制

1 支部執行体制

役員定数及び執行部氏名一覧

役 職	定数	現員	氏 名	所属分会	担務等
支部長	1	1	下山 薫	第二特殊分会	全体総括
副支部長	2	1	島村 明浩	第一輸送分会	補佐
書記長	1	1	井上 正幸	郵便企画・営業分会	書記局総括、正窓口
執行委員	16	17	佐々木 聡	共通分会	
			酒井 高志	郵便企画・営業分会	
			大川 貴宏	郵便企画・営業分会	
			岩井 正之	第一普通分会	
			阿部 勝	第一普通分会	
			大崎 忠義	第一普通分会	
			後藤 昌央	第一普通分会	
			手塚 豊	第二普通分会	
			小山 健司	第二普通分会	
			石井 直	第二特殊分会	
			荒牧 朱司	第三特殊分会	
			菅家 和範	第一輸送分会	
			伊丹 章	窓口分会	
			吉井 亮介	窓口分会	
			星野 浩一	第一ゆうパック分会	
			植松 大和	第二ゆうパック分会	
			伊藤 博喜	第三ゆうパック分会	
会務検査	2	2	中島 伸興	第二普通分会	
			岡部 涉	窓口分会	

2 専門部体制

専門部名	部長	副部長	部員	備考
総務部	手塚 豊	佐々木 聡	酒井 高志	文書の受発、整理、その他一般庶務、財政。
組織部	荒牧 朱司	阿部 勝	吉井 亮介	組織強化・拡大、組織活動全般
教育部	菅家 和範	星野 浩一	植松 大和	労働学校、各種研修会等の企画・実践
広報部	伊丹 章	伊藤 博喜	植松 大和	機関紙の編集・発行、各種情報は供
福祉共済部	岩井 正之	石井 直	阿部 勝	福利厚生、JP共済、ボランティア。
青年連帯部	大川 貴宏	石井 直	星野 浩一	青年活動の推進と活動家育成、文化・レク。
男女共同参画部	大崎 忠義	小山 健司	吉井 亮介	男女共同参画推進
企画政策部	酒井 高志	伊藤 博喜		郵便事業に関する事項
連絡・渉外	連絡幹事：下山・井上			

日 刊 A 新東京	No.491	2010年9月27日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

株式会社ニッセンにおける 大型ゆうパックの広域配達委託について

郵便事業会社はJP労組本部に対し、現在7都府県で実施している株式会社ニッセン（以下、「ニッセン」という。）から受託している大型ゆうパックの広域配達委託について、一部エリアの執行形態を見直すとの説明を行ってきました。

1 これまでの経過と現状について

現在、ニッセンの受託は、特約として240サイズまで（一般ゆうパックは170サイズまで）の配達、返品集荷を行っていますが、そのうちの195～240サイズの大型ゆうパック（元払い限定、最長辺170cmまで）、特に物量の集中する東京、大阪、名古屋の3大都市圏を中心とする7都府県の一部エリアにおいて、配達支店での配達業務等の負荷（施設・車両等）を軽減するために、7月1日（木）からの暫定的な運用で、広域配達エリアを設定し、エリアごとに日通とプラスカーゴ、安房運輸に配達業務を委託したとしています。

暫定的運用における広域配達委託について、該当する支社、支店は、7月1日（木）時点で「配達支店での業務負荷の軽減に一定の成果をあげた」と評価する一方、3つの問題点として、①統括支店での区分作業負荷が増大した、②現行システムでは、広域配達支店の保管・コール対応業務等の作業負荷が想定以上で、保管スペースも狭隘になるため年繁オペレーションが不安、③コストがかかる割に配達効率が上がらず、コストがかさんでいる等のマイナス面が見受けられるとしています。

2 今後の運用について

本社は、広域委託配達について、あくまで7月1日（木）からの業務負荷軽減に向けた暫定的な運用であることを踏まえ、今後のスケジュール感については、委託業者との契約等を踏まえた各支社での検討状況をもとに、既に自前執行している神奈川県、他府県の運用状況を見極めながら、委託契約満了のタイミングをはかり、順次見直しを行っていくとしており、本社と支社と連携して、委託執行から自前執行に切り替えた際の配達支店の

運行確保、切替期の残貨引継ぎに対する十分な準備等をフォローするとして
います。

JP労組本部は、本社に対し、本施策における労働力について確認した
ところ、配達個数も引越シーズン等時期的な変動は考えられるものの、数
的には1支店に対し平均2～3個と比較的安定しており、労働力の変化は
少なく、特にサービスインにあたって要員措置等の考えはないとしていま
す。なお、嵩物配達に適している車両等を本社調達し、各支社からの要望
を聞いて対応するとしています。

JP労組本部は、これから順次見直しを進めるにあたり、スケジュール
に無理のないよう本社、支社間での連携を強化するよう求め、本案件を諒
承しました。

2 普分会 分会レク 昇仙峡（山梨）バスハイク

2 普分会では秋の日帰りレクを企画しています。

多く皆様の参加を心よりお待ちしております。

2010年（平成22年）10月18日（月）

雨天決行

新東京支店 正面玄関 8時30分集合

解散は支店前 18時頃

詳しくは 2 普分会の役員まで

窓口分会 分会レク バーベキュー親睦会

窓口分会はバーベキュー親睦会レクを企画しました。

参加 よろしくお願ひします。

2010年（平成22年）11月7日（日）

場所 葛西 富士公園内バーベキュー場

12時スタート

詳しくは 窓口分会の役員まで

日 JP新東京 刊	No.493	2010年9月29日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

統括支店における安全保護員等の配備について

先般、郵便事業会社が経営理念に「安全」の文字を明記し、対外的なアピールと社員への意識付けを行うとしていたところですが、この度宅配便事業統合に伴う統括支店において、ゆうパック地域区分等業務に従事する社員（以下、「ゆうパック業務従事社員」という。）と期間雇用社員、繁忙期の短期アルバイトを対象に、今年末繁忙期前までに以下のとおり安全保護員等を配備の上、着用させるとの説明を行ってまいりましたのでその内容についてお知らせします。

宅配便事業統合に伴い、統括支店においてゆうパック地域区分等業務従事する社員（以下、単に「ゆうパック業務従事社員」という。）の労働安全等の観点から、次のものを配備し、着用のこととする。

1 配備品及び配備基準等

(1) 軽ヘルメット（布帽子に替わるプラスチック製の帽子）

ゆうパック業務従事社員全員を対象に、各1配備。（繁忙期の短期アルバイト等も同様）

なお、夏期等における暑さ対策については、別途検討のこととしたい。

※ 繁忙期の短期アルバイト等使用のものについては、支店で清掃の上、次期繁忙期等にも使用のこととする。

(2) 作業用手袋

ゆうパック業務従事社員全員を対象に、各2配備。（繁忙期の短期アルバイト等は各1）

※ 繁忙期の短期アルバイト等使用のものについては、支店で洗濯の上、次期繁忙期等にも使用のこととする。

(3) 安全靴

ゆうパック業務従事社員を対象に、各1配備。

※ 繁忙期の短期アルバイト等については、検討中。

日 刊	新東京	No. 894	2010年9月30日(木)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

OneDay・OverNight サービスの変更に伴う調整概要について

東京支社より、OneDay・OverNight サービスの変更に伴う調整概要について情報提供がありましたので周知します。

現在、OverNight サービスは、21時までに引き受けたゆうパックを21時～22時までの間に収集(CVS便)し、OneDay サービスについては、4時～5時の間に収集(CVS便)を行っています。

これを、OverNight サービスについては、22時までに引き受けたゆうパックを22時～24時まで(1時間→2時間)の幅を持たせて収集(CVS便)し、OneDay サービスについては、サービスレベルを午前から午後に変更(都区内あてのみ)し、収集(CVS便)時刻を4時～6時(1時間→2時間)に変更するとしています。

都区内所在支店の差立基準については、下1折返し上便(別表で指定)、多摩地域については、現行のとおり収集便対応により直接東京多摩支店へ到着させます。

OneDay・OverNight の指定便へは、従来通り、対象地域あてのパレットのみを搭載し、OneDay 及び OverNight 在中の紙片をパレットに貼付して送付します。

なお、対象地域あて以外のゆうパックについては、引き受け支店でパレット保管し、OneDay 指定便以降の便へ搭載することとなります。

収集区については、現在、46支店起点、212区画でOneDay・OverNight サービスの収集(CVS便)を行っていましたが、38支店起点、127区画に見直すとしています。

実施日は、平成22年10月1日(金)のOverNight 収集から実施し、運送の移り変わりについては、同日の起点支店発20時45分から新ダイヤへ移行します。

地本は、CVS 便取扱いの荷量が少なくコスト削減する必要なことは理解するが、準備期間が短いことを指摘し、コンビニエンスストアへの説明対応や新区画の設定について支社へ確認しました。

支社は、コンビニエンスストアへの説明は既に行い、了承を得ているとし、また、お客様への周知チラシについては本社が準備しており、収集(CVS便)の新区画については日本郵便輸送会社で準備しているとしています。